

# れんけい

令和元年9月13日

岡山県立岡山聾学校

特別支援教育 コーディネーター

子どもたちは、夏休みの楽しい思い出を胸に始業式から元気に登校しています。現在、暑い中、体育祭に向けて一生懸命練習に励んでいます。保護者の皆様には、いつも学校へのご理解とご協力をいただき、また、ご家庭では子どもの体調面や精神面へのご配慮をいただきまして心よりお礼申し上げます。2学期もどうぞよろしくお願い致します。

1学期末から夏休み中も、岡山聾学校は、キャリア教育フェア、サマースクール、わくわくワークショップ、オープンスクール、聴覚障害教育に関する研修会など校内・校外支援行事が盛りだくさんでした。その一部を紹介します。

## サマースクール



7月23～24日の2日間（午前中）今年度も恒例の「サマースクール」を開きました。「サマースクール」は聴覚に障害のある校外の小学生に対して、発音指導をしたり、聴覚支援（聴力測定など）を行ったりするもので、聾学校のセンター的な機能を発揮した行事のひとつです。本校の幼稚部を卒業したお子さんに限らず、難聴学級などに通っているお子さんも対象にしています。今年度は11名の参加があり、そのうち幼稚部を卒業したお子さんが9名で、アフターケアとしての取組にもなっています。昨年度は7月の西日本豪雨で幼稚部の聴力測定室が被災し、聴力測定ができませんでしたが、改修工事を終え、きれいになった聴力測定室で聴力測定もできました。

開講式の後、発音明瞭度検査で自分の課題音を確認してから始めるので、めあてをもって取り組むことができていました。また、口形や舌の使い方、息の出し方などを視覚的な教材を使って練習するうちに、正しい発音の方法を意識できるようになっていきました。また、聾学校の幼稚部、小学部の教員と2日間触れ合うことで、なじみのない人と積極的に話す機会としても意義があったように思います。

昨年度に続いて2日目の終わりには、高等部主催の「わくわくワークショップ」を開きました。総合デザイン科の生徒や先生に手伝ってもらいながら、木工作品（ハンドスピナー）やさわり織り、アクセサリーを作る体験をしました。がんばって作った作品を持ち帰る子どもたちは、とてもうれしそうでした。高等部の雰囲気も少し感じてもらえたと思います。

また保護者同士の懇親会を両日とももちました。お子さんの話や情報交換等で話が盛り上がったようです。「年に1回、発音を意識できる機会があってありがたい。」、「視覚的な道具を使って教えてくださり、一時的なものかもしれないが正しい発音で言えるようになった。継続できるような家庭でも気を付けようと思った。」等の感想をいただきました。



# キャリア教育フェア

キャリア教育フェアは7月11日（木）と12日（金）の2日間にわたりイオンモール岡山 1F未来スクエアを会場に開催されました。県内の特別支援学校・支援学級の子も達が、「就労に対する意欲・技能・態度の発表体験」また「日頃の学習活動の成果・作品の発表」などを目的として、隔年で開催されているフェアです。聾学校は、展示発表（幼小中）と販売学習・ワークショップ（高）で参加しました。

## ● 発表の内容・当日の様子

- ・「展示発表」では、幼稚部は、アヒル・カタツムリ（平面）やカメ（立体）、小学部は、海为学校・まぼろしの花・切り絵（平面）、帽子・ナップサック（立体）など夢のある子どもらしい表現。中学部は、鉛筆立て・ネームプレート・ペーパーウェイト（立体）など、自分が使うことを想定した用途のある作品、それぞれ個性あふれる作品ばかりでした。
- ・「販売学習」には、高等部・普通科（1・3年）生徒が参加しました。お揃いの水色のエプロンを着けて「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」などと、大きな声とさわやかな笑顔で販売・接客をすることができました。学園祭や展示会等で販売経験のある生徒もいましたが、大勢のお客様と他校の生徒が販売等に取り組んでいる、活気ある雰囲気の中、2時間という時間はあっという間に過ぎてしまいました。生徒の充実感・達成感も含め、大きな成果を得ることのできた販売学習でした。
- ・「ワークショップ（手のもみほぐし・さをり織り・糸のこ体験）」では、高等部・総合デザイン科（2・3年）生徒がお客様相手に丁寧にコミュニケーションを取りながら、活動体験をすることができました。「手のもみほぐし」では「痛くないですか?」「気持ちいいです。」などと会話をしながら、笑顔で温かい接客ができていたのが印象的でした。また「さをり織り・糸のこ体験」では生徒が技術的な指導をしながら、「難しいわ、やってみて…」「さすが、上手ですね」などとやりとりをしながら、生徒も自信を持って教えることができていました。人に教えるという貴重な体験をして、彼らなりに大きな収穫のあった体験学習となりました。



## ● フェアが終わって

今回、初めての試みだったワークショップ（高等部）は、当初の心配をよそに、当日はお客様が絶えることがないほどの盛況でした。「販売」に関しては経験のある生徒も多く、テキパキと接客していたのが印象的でした。小学部の見学では、子ども達が自分の作品や写真を見つけて大喜びしていました。幼稚部・中学部は見る機会が無かったので持ち帰った作品をそのまま校内に展示しました。当日の様子（写真掲示）も含め、全校で見られるように配慮したことが子ども達や教職員・保護者等に好評でした。2年後は新たな内容・メンバーで、展示・販売・ワークショップ等ができると思われれます。今後は楽しみです。